

# バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】中野市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km <sup>2</sup> )
40	2010.2.26			長野県	中野市	45,717	112.06
構想の要約		中野市は、国内でも有数のきのこ産地であり、その栽培過程で発生する使用済み培地を様々な方法で利活用することを推進し、また、生ごみ、草木類及び汚泥などを複合的に活用して、地球温暖化の防止、循環型社会の形成を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		①きのこ使用済み培地の飼料化 ②きのこ使用済み培地の自己完結型熱エネルギー利用 ③きのこ使用済み培地の再製品化 ④きのこ使用済み培地の固形燃料化 ⑤きのこ使用済み培地の堆肥化 ⑥生ごみ、汚泥等の複合的活用によるバイオガス化(メタン発酵) ⑦廃食用油のバイオディーゼル燃料化 ⑧その他の取組・食品加工残さの飼料化・もみ殻の固形燃料化・林地残材のペレット化					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)	○	野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝	○		
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材	○	その他( )			
建設発生木材	○				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○				
古紙・廃棄紙	○				
下水汚泥など	○				
その他( )					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化	○	直接燃焼	○
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(きのこ産地)	○	炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他( )	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

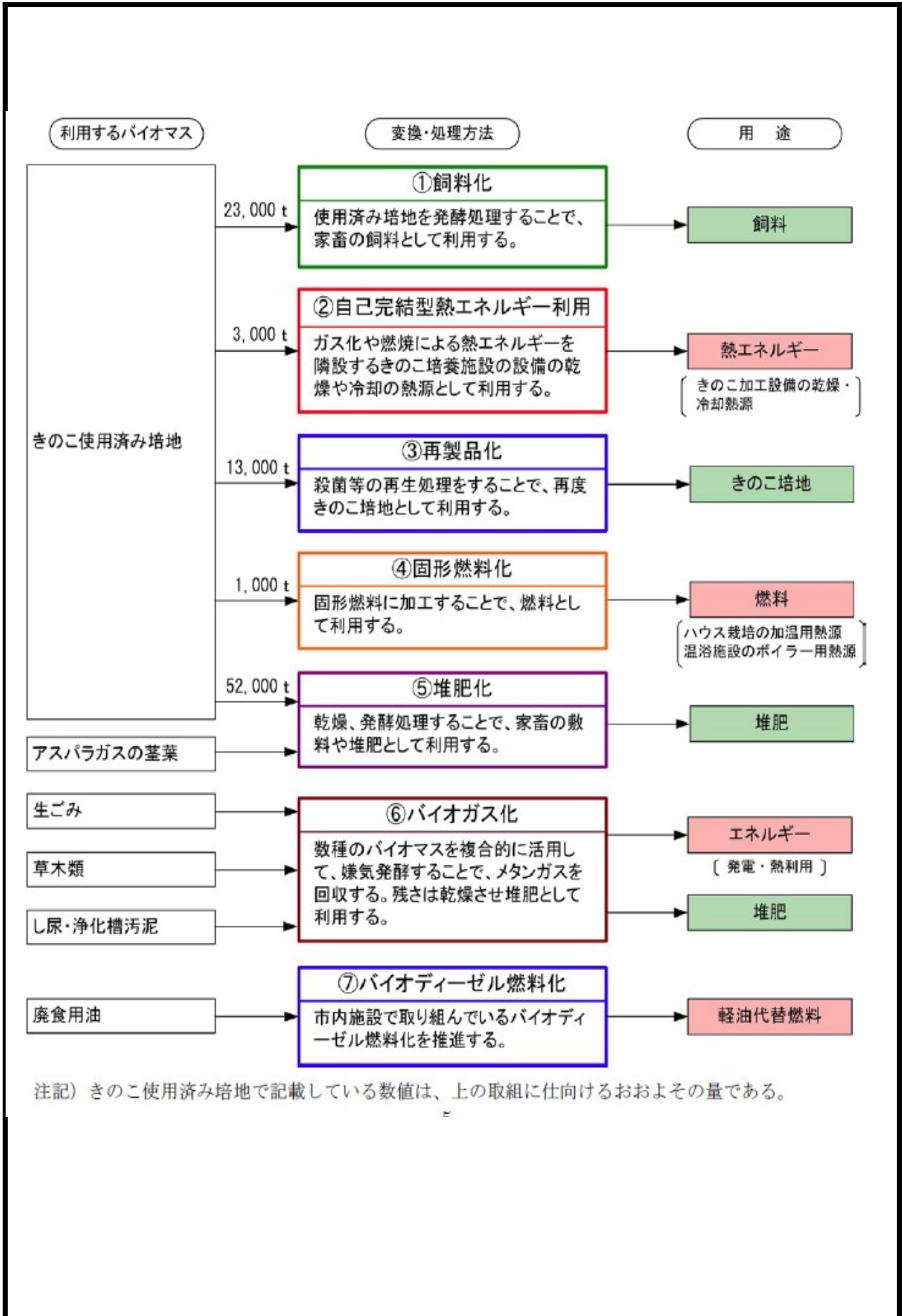
実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

**バイオマス利活用目標**  
(バイオマスタウン構想書からコピー)

項 目	現 状						目 標			
	賦存量		仕向量		変換・処理方法	利用率	利活用量		今後の変換・処理方法	利用率
	湿潤量 (t/年)	炭素量 (t/年)	湿潤量 (t/年)	炭素量 (t/年)			湿潤量 (t/年)	炭素量 (t/年)		
<b>廃棄物系バイオマス</b>		<b>24,605</b>		<b>16,903</b>		<b>69%</b>		<b>23,614</b>		<b>96%</b>
生ごみ	4,507	199	1,255	55	飼料化、堆肥化、 熱回収(焼却)	28%	3,655	162	飼料化、堆肥化、熱回 収(焼却)、バイオガス 化	81%
食品加工残さ	2,881	127	2,478	110	飼料化、堆肥化、 (焼却)	87%	2,478	110	飼料化、堆肥化	87%
廃食用油	219	156	110	79	油脂化、製品化、 熱回収(焼却)、バイオ ディーゼル燃料化	51%	112	80	油脂化、製品化、 熱回収(焼却)、バイオ ディーゼル燃料化	51%
古紙	1,136	559	1,136	559	製紙原料化	100%	1,136	559	製紙原料化	100%
草木類	112	25	50	11	破砕チップ化、熱回収 (焼却)、(残置)	44%	52	12	破砕チップ化、バイオ ガス化	48%
し尿・浄化槽汚泥	491	4	0	0	(焼却→埋立)	0%	491	4	バイオガス化	100%
下水汚泥	2,904	268	2,904	268	堆肥化	100%	2,904	268	堆肥化	100%
家畜排せつ物	17,770	1,060	17,770	1,060	堆肥化	100%	17,770	1,060	堆肥化	100%
建設発生廃材	244	107	166	73	破砕チップ化、 (焼却、埋立)	68%	166	73	破砕チップ化	68%
製材端材	627	276	619	273	破砕チップ化、堆肥 化、(焼却、埋立)	99%	619	273	破砕チップ化、堆肥化	99%
きのこ使用済み培地	95,751	21,824	63,248	14,415	堆肥化、再製品化、 固形燃料化、(野積み による堆肥)	66%	92,193	21,013	堆肥化、再製品化、固 形燃料化、飼料化、熱 エネルギー利用	96%
<b>未利用バイオマス</b>		<b>3,140</b>		<b>1,442</b>		<b>46%</b>		<b>1,535</b>		<b>49%</b>
稲わら、もみ殻	4,696	1,344	1,883	539	堆肥化、飼料化、炭 化、(すき込み)	40%	2,116	606	堆肥化、飼料化、炭 化、固形燃料化	45%
果樹等の剪定枝	5,053	1,126	3,188	710	炭化、破砕チップ化、 裁断、(すき込み)	63%	3,188	710	炭化、破砕チップ化、 裁断	63%
アスバラガスの茎葉	194	16	0	0	(すき込み、焼却)	0%	58	5	堆肥化	31%
林地残材	3,006	654	888	193	製品加工、破砕チップ 化、(残置)	30%	983	214	製品加工、破砕チップ 化、ペレット化	33%

# バイオスタウン構想概要図

(バイオスタウン構想書からコピー)



### 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)